

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑の休暇村センター 相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯 相模原市立津久井合唱館
指定管理者名	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立緑の休暇村センター条例、相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例、相模原市立津久井合唱館条例
施設の設置目的	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。（相模原市立緑の休暇村センター条例第2条） 温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため。（相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例第2条） 市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の総合交流の促進に寄与するため。（相模原市立合唱館条例第2条）
施設概要	【緑の休暇村センター】 所在地：緑区青根807番地2 開館日：昭和55年6月8日 管理面積：12,434㎡ 延床面積：717.25㎡ 構造：鉄骨造地上2階、木造 主な施設：宿泊室6室、コテージ3棟、テニスコート2面、食堂 【青根緑の休暇村いやしの湯】 所在地：緑区青根844 開館日：平成17年5月11日 管理面積：4,187.730㎡ 延床面積：999.875㎡ 構造：鉄骨造一部木造平屋建 主な施設：温泉施設、貸切休憩室 【津久井合唱館】 所在地：緑区青根851番地 開館日：平成6年7月1日 敷地面積454.96㎡ 延床面積：105.24㎡ 構造：鉄骨造1階
施設所管課	緑区役所区政策課（緑の休暇村センター及び青根緑の休暇村いやしの湯） 津久井まちづくりセンター（津久井合唱館）

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【休暇村センター】 利用者数合計（人）	3,974	1,432	1,405	2,240	2,701
【休暇村センター】 利用料金合計（円）	8,578,410	4,633,602	3,944,520	6,689,597	6,180,000
【いやしの湯】 利用者数合計（人）	82,679	51,133	60,782	86,042	90,461
【いやしの湯】 利用料金合計（円）	53,670,220	34,453,910	65,882,338	96,789,845	61,488,210
【合唱館】 利用者数合計（人）	790	55	194	267	452
【合唱館】 利用料金合計（円）	115,500	21,000	64,050	60,900	69,650

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	D	D	D	D	D		

指標	3指標の平均値
指標名（単位）	各施設における達成度（％）の平均値
指標式と指標の説明	評価年度における「成果指標の達成度」の3施設の平均値

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3施設平均値（％）	70.7%	28.9%	39.3%	51.7%	59.2%

指標1	緑の休暇村センター
指標名（単位）	施設利用者数の増加（対象施設：客室、コテージ、食堂、テニスコート）
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12カ月 単位：人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数（1カ月当たり）の平均値5%増とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	420	420	420	420	420
実績値（人）	331	119	117	187	225
達成度（％）	78.8%	28.3%	27.9%	44.5%	53.6%

指標2	青根緑の休暇村いやしの湯
指標名（単位）	施設利用者数の増加（対象施設：入浴施設）
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12カ月 単位：人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数（1カ月当たり）の平均値5%増とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
実績値（人）	6,890	4,261	5,065	7,170	7,538
達成度（％）	78.3%	48.4%	57.6%	81.5%	85.7%

指標3	津久井合唱館
指標名（単位）	施設の年間利用件数 単位：件（コマ）
指標式と指標の説明	午前、午後、夜間の区分を1コマ=1件とする。 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用コマ数（1カ月当たり）の平均値5%増とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（件）	200	200	200	200	200
実績値（件）	110	20	65	58	77
達成度（％）	55.0%	10.0%	32.5%	29.0%	38.5%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	D	A	A	A		

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
北丹沢12時間山岳耐久レース	施設周辺をスタート・ゴールとする約44キロを走るトレイルレースに協賛し、大会関係者や参加選手に駐車場・入浴・食事等の提供と入賞者にトロフィーを送りPRを行った。	参加者数 R元年：約1,600人。
道志川合唱祭及び前夜祭	道志川合唱祭及び前夜祭（芸能発表、和太鼓演奏、打ち上げ花火）の事業に協力、協賛しパンフレットの配布などPRに努めた。	参加者数 R元年：前夜祭約500人、合唱祭約1,000人 R5年：約200人（前夜祭のみ）
いやしの湯送迎バス運行事業	地域住民の健康増進と交流を図るため、地域振興協議会の協力を得て秋から冬の間の利用者の拡大に努めた。	利用者数 ・月2回、6ヶ月間 ・青根・青野原地区 ・約70名利用
相模原市制記念日事業	相模原市制記念日に入館料の割引を行うなど、利用者の拡大に努めた。	入館料（3時間） 大人：750円→400円 子供・障がい者：430円→300円 ポイント3倍サービス
いやしの湯入浴料金サービス	午後5時以降の入館料を割引し、冬期の利用者の拡大に努めた。	入館料（3時間） 大人：750円→550円 子供・障がい者→330円
ゆず湯	冬至に露天風呂でゆず湯を行った。	
冬季ポイントサービス	期間中の平日1回利用につき2ポイント付与のサービスを提供した。	
新春甘酒サービス	新春の入館者にご利用を感謝し甘酒の提供をした。	

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	S	S	S	S		

利用者満足度調査	3施設の平均値
調査手法	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）
目標値の基準	「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
実績値（%）	79.3	98.3	98.3	98.0	98.0
達成度（%）	99.1%	122.9%	122.9%	122.5%	122.5%

利用者満足度調査	緑の休暇村センター
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/112件（令和5年4月1日～令和6年3月31日実施）
目標値の基準	接客、食事など各項目の満足度の「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
実績値（%）	62.0	97.0	100.0	99.0	100.0
達成度（%）	77.5%	121.3%	125.0%	123.8%	125.0%

利用者満足度調査	青根緑の休暇村いやしの湯
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/300件（令和5年4月1日～令和6年3月31日実施）
目標値の基準	総合的な満足度の「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
実績値（%）	83.0	98.0	95.0	95.0	94.0
達成度（%）	103.8%	122.5%	118.8%	118.8%	117.5%

利用者満足度調査	津久井合唱館
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/23件（令和5年4月1日～令和6年3月31日実施）
目標値の基準	施設管理状況、利用料金、接遇、総合的な満足度の「普通」以上の合計が8割以上 ※R1は施設管理状態、利用料金、接遇、総合的な満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
実績値（%）	93.0	100.0	100.0	100.0	100.0
達成度（%）	116.3%	125.0%	125.0%	125.0%	125.0%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A	C	D		

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	87,093	115,530	118,880	78,586	72,808
指定管理料	706	716	714	714	714
利用料金収入	62,364	38,140	50,842	63,493	67,737
その他の収入	24,023	76,672	67,243	14,379	4,357
支出 (b)	81,768	83,823	91,417	94,528	84,095
人件費	25,599	22,162	25,251	27,471	29,276
本社管理経費	48,645	39,513	44,468	60,916	47,776
その他の支出	7,524	22,147	21,697	6,140	7,043
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	5,325	31,706	27,382	-15,941	-11,287
自主事業収入 (d)	37,102	21,498	18,880	39,732	46,900
自主事業支出 (e)	40,661	31,839	31,296	40,583	49,564
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	-3,559	-10,341	-12,415	-851	-2,664
全体収支 [(c)+(f)]	1,766	21,365	14,967	-16,793	-13,951
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
主な加点内容	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施

8 指定管理者の自己評価

令和元年から5か年の新たな指定管理者として施設の管理、運営をさせていただきましたが、初年度早々10月の台風19号により国道等幹線道路の崩落など地域は甚大な被害を受け一時的な休業もありました。翌年2月には新型コロナウイルス感染症が国内にまん延し令和3年度まで一時休業や時間短縮営業など厳しい運営が続きました。令和4年度は休業こそありませんでしたがコロナ禍で利用者の回復はありませんでした。この間、国・県・相模原市から経済的支援やコロナ対策のための施設改修及び備品購入などの補助をいただき営業できました。

一方、緑の休暇村センター周辺施設で開催をしていました山岳耐久レース、道志川合唱祭、星空観測会などイベントの中止や団体客の利用控えなどがありました。最終の令和5年度はコロナウイルスが第5類に移行され景気の回復に期待が高まる中で、利用者制限を徐々に解除し利用者の増加を図りましたが、エネルギーコストや物価上昇により厳しい経営が続きました。

この5か年を検証し、利用者のニーズに沿った経営努力と独自事業（温泉付きテントサイト）の事業化に努め施設利用者の拡大に努めてまいります。

9 所管課意見

東日本台風や新型コロナウイルス感染症等の影響に伴い、厳しい運営状況にあった中、感染対策等を図りながら事業を継続したことを評価する。このような状況の中、利用者の要望に寄り添った運営に努めたことで、満足度調査では高い水準を保ち、利用者数は徐々に戻りつつあり、施設の魅力を挙げている。一方、新型コロナウイルス感染症等の影響により利用者数が減少したことで、成果指標の達成度が低くなっており、新規利用者の確保や利用者数の拡大などが課題となっている。更に、物価高騰等により、温泉運営に重要な光熱費等が高騰していることが経営状況に影響しているものの、総合的な評価は「B」となっている。

指定期間の最終年度をむかえ、今後も利用者ニーズに即した運営を行うため、満足度調査数の確保するための方策や、創意工夫を凝らした新たな事業の展開により施設の魅力度の向上を高めていくことを期待したい。

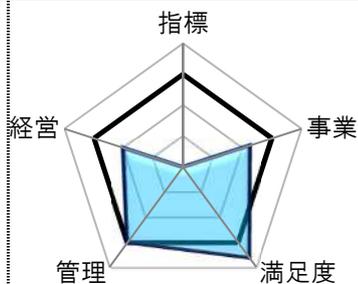
10 審査委員会意見

・施設の経営状況がAからDへと変動しているが、今後の5年間もあるため、改善を図っていただきたい。固定負債として計上している温泉井戸掘削の経費により負債が大きいが、自己資本に組み込むなど検討されたい。

- ・交通の利便性を向上することが、利用者の拡大には重要な要因である。
- ・行政の施設として、ウェブアクセシビリティにしっかりと対応していただきたい。
- ・キャッシュレス化対応が重要である。現金計算の時間も短縮できる利点もある。

総合評価（自動判定）

C



(54/100)